



Konftel 55W ユーザーガイド

日本語

OmniSound® HD - より優れたサウンドクオリティ

独自特許のオーディオ技術OmniSound®は印象的で明瞭な全二重の音声通信を実現。バーチャル会議への参加の際双方向での会話を可能にします。360°集音できる高感度マイクとスピーカーによってすべての出席者へ明瞭で力強い音が届けられます。

OmniSound®HDはVoIP通話でのHDオーディオ音声を。

バックグラウンドのノイズを最小にする自動エコーキャンセラーとノイズキャンセラー、またオーディオ特性に適合させるイコライザーを搭載。これは音質を損なうこともクリッピング、ダンピング、エコーなどに煩わされることもなく自由に部屋の中を動くこと、他の人たちと話すこと、ディスカッション、ディベートすることを可能にします。それらの機能によって最大限、リアルな音を体感することができます。



ここでKonftel ABはこの会議電話が1999/5/ECの不可欠な必要条件とその他関連事項に従ったものであるということを宣言します。
宣言全部を読むにはこちらをご覧ください。www.konftel.com/doc



注意

Konftel 55Wを雨や湿気にさらさないでください



注意

Konftel 55Wの筐体を開けないでください



注意

危機と電源を繋げるには専用の電源アダプタをお使いください



注意

Konftel 55WにはKonftel専用のバッテリーのみお使いください

目次

イントロダクション	2
メンテナンスについて	2
取扱いについて	3
概要	4
ブリッジ接続	6
バッテリーについて	6
固定電話で利用する	7
固定電話への接続	7
発信する	8
携帯電話で利用する	9
携帯電話へのケーブル接続	9
発信する	10
PCで利用する	11
PCへの接続	11
PCでKonftelを利用する	12
Bluetoothで利用する	13
ペアリングと接続	13
ペアリングされた電話との接続	16
発信する	17
ヘッドセットのついた電話との接続	20
その他の接続を利用する	22
接続の切り替え	22
ブリッジ接続	24
音量調節	24
ヘッドセットを使う	26
Bluetoothヘッドセット	26
録音機能	27
録音	27
再生	28
設定	29
言語選択	29
サウンドエフェクト調節	30
接続設定の変更	31
システム設定の変更	34
ソフトウェアのアップグレード	35
PCからのアップグレード	35
SDカードからのアップグレード	36
仕様	37

イントロダクション

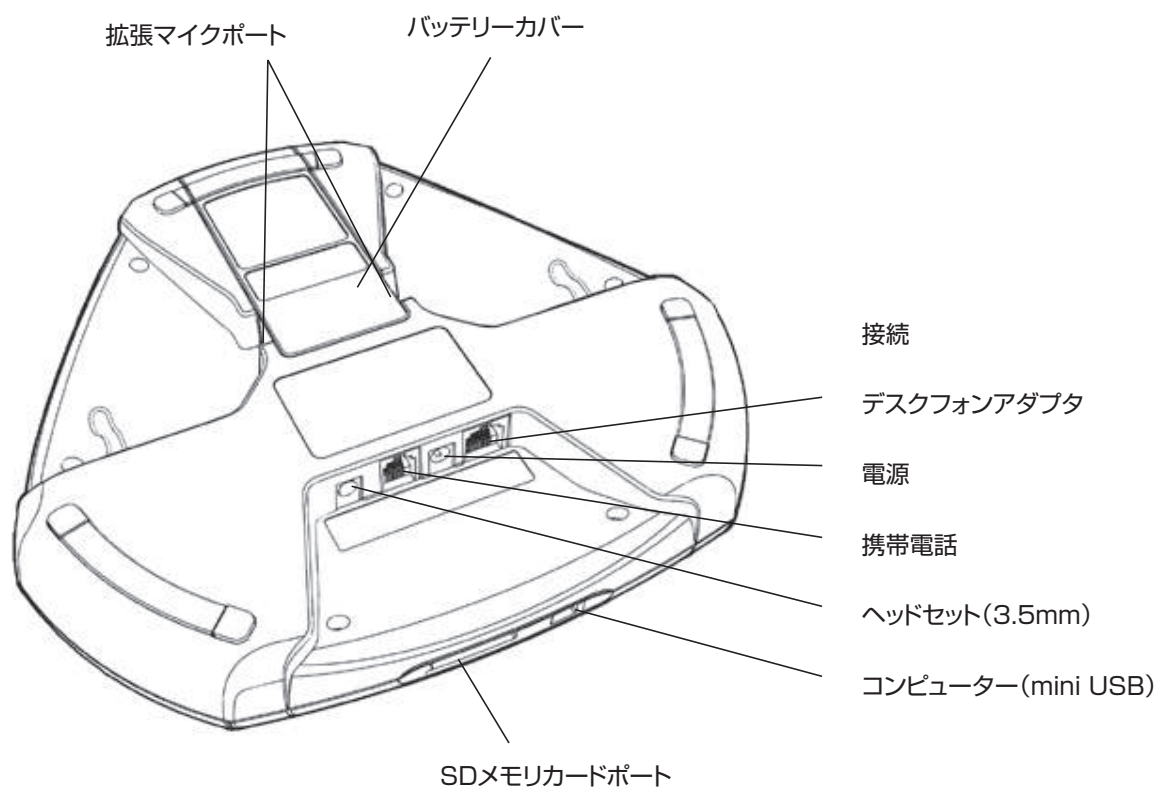
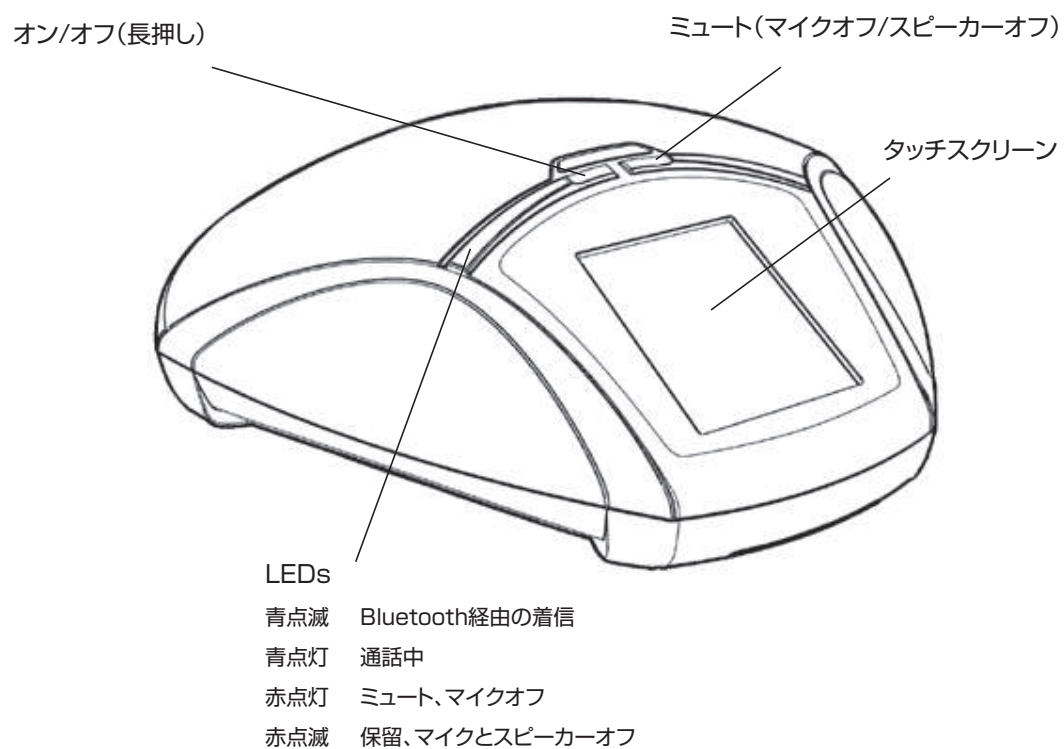
Konftel 55Wは固定電話、携帯電話、PCに接続可能な会議ユニットです。電話会議、Web会議など遠隔会議でのOmniSound®HDオーディオ品質を実現します。

- 全帯域幅(20-24000Hz)における全二重通信、エコーキャンセラー、電波障害削減の機能を備えたOmniSound®HDのオーディオテクノロジー。(音声帯域幅は通信ネットワークの制限を受けます)
- Microsoft®Lync®などUCソリューションのサポート
- タッチボタン式LCD高解像度ディスプレイ — 接続機器にあわせて画面が変化
- モバイルケーブル(別売品)またはBluetoothでの携帯電話接続
- Konftel固定電話アダプタ(別売品)を通した固定電話との接続
- PC、またその他のハンズフリー接続対応のUSBデバイスへのUSB接続
- USBブレイバック/VoIPコールの自動検出(OmniSound®HDの音声処理は必要時のみ行われます。音楽再生時には音声処理は行われません。)
- PCと電話間のオーディオブリッジ機能
- 通話録音機能により会議後の内容確認やボイスレコーダーとしての使用が可能
- バッテリー電源機能によりBluetooth接続時の完全なワイヤレス化が可能
- バッテリーはメインサプライ(電源アダプタ)もしくはUSB経由での充電可能
- ヘッドセットの接続オプションあり
- 拡張マイク(別売品)の追加で集音範囲の拡張可能
- アップグレード可能
- 2年保証

メンテナンス

機器は柔らかい、乾いた布で手入れしてください。液体洗剤などは使用しないでください。

取扱いについて

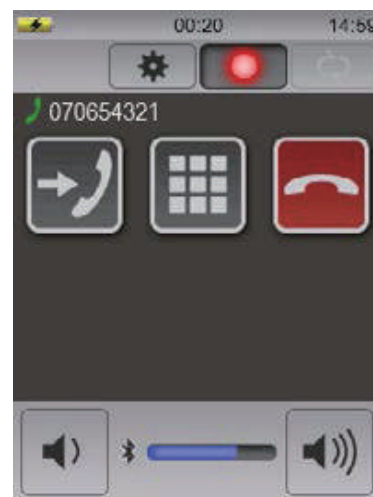
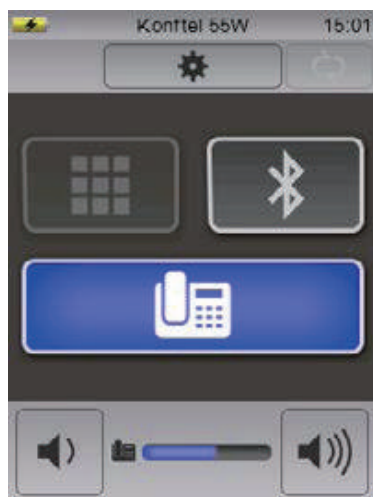


取扱いについて

概要

Konftel 55Wは自動的に接続を検出します。ユニットには多様な接続オプションがありますが、状況に合わせて使用可能なボタンが表示されるため使い方はとても簡単です。

Konftel 55Wの起動直後、ディスプレイにはメニューボタン、携帯電話へのペアリング、接続の際に使用するBluetoothアイコンのみが表示されています。USBでPCに接続するとPCアイコンが表示されます。同様に固定電話に接続すると固定電話アイコンが表示され、ヘッドセットに接続するとヘッドセットアイコンが表示されます。またSDカードを入れると録音アイコンが表示されます。それぞれのアイコンの点灯は、その機能がアクティブであることを表しています。アイコンを押すとオン/オフの切り替えができます。

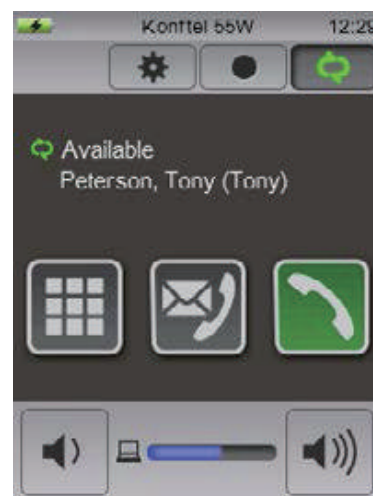


UCソリューションサポート

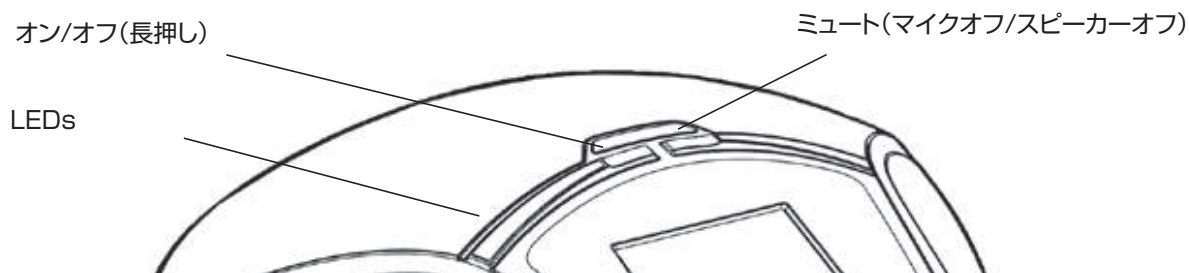
Konftel 55WはMicrosoft®Lync®などのUCソリューションのサポートを拡大しています。詳しくはこちらをご覧ください。www.konftel.com

LED

携帯電話・固定電話アイコンがアクティブ状態の時、青いLEDライトが光り、オーディオチャンネルが開いていることを表示します。発信中を表示しているわけではありません。発信の操作は、接続されたデバイス(携帯電話、もしくは固定電話)で行います。



取扱いについて



Konftel 55W上のボタン( or )を押すことで、通話中の音声をKonftel 55Wから電話機へ、また電話機から55Wへの伝送が可能です。

PC接続ではマイクを使用する通信が始まった時にLEDが点灯します。

Bluetooth接続では通信中に青いLEDが点灯します。接続によって音に加えてコミュニケーションができる場合、Konftel 55Wのキーパッドで電話発信操作が可能です。

ミュートボタン

- ⇒  ボタンを押すと通話の間マイクがオフになります。
LEDは赤く点灯し、2つのボタンが表示されます。
- ⇒ スピーカーをオフにしたい時は(、)ボタンを押してください。
LEDは赤く点灯します。
- ① ボタンを押して5秒後、もしくはスクリーンのボタン以外の部分を触った場合、スクリーン上のボタンは消えます。
- ⇒  ボタン(右側にある実際のボタン、もしくは画面上のボタン)をもう一度押すと、マイク(スピーカー)をオン状態にできます。
LEDは青く点灯します。

省エネモード

Konftel 55Wには数段階のレベルの省エネモードがあります。無操作時、5分でバックライトが消え、15分後には画面が時刻表示に変わります。バッテリー使用の場合はより短い時間になります。

スイッチオフ

- ⇒  ボタン(左側の実際のボタン)を3秒ほど押します。
- ⇒  を押してKonftel 55Wの電源を切るかの確認をしてください。

ブリッジ接続

電話とPC間でオーディオブリッジが可能です。たとえばPC上でのSkype®のコールなどを組み合わせ、携帯電話や固定電話で発信することができます。電話とPC以外のオーディオブリッジの組み合わせはできません。オーディオブリッジに関する詳細は24ページをご覧ください。

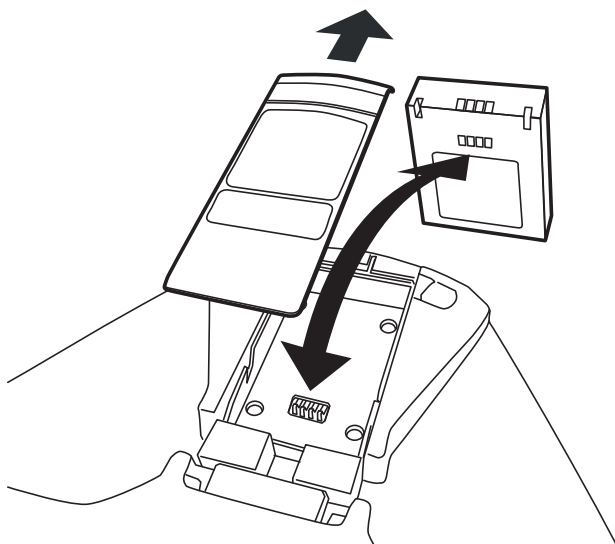
バッテリー

バッテリーはKonftel 55W本体で充電可能です。付属の電源アダプタ、もしくはUSBで充電可能です。

- ❶ Konftel 55Wはバスパワーを有するUSBポートに接続する必要があります。また、主電源がオフの場合、USB経由の充電はさらに時間がかかります。

バッテリーを入れる

- ⇒ バッテリーカバーを前に押し、外してください。
- ⇒ バッテリーの金属部分が収納部のピンに接するよう、バッテリーを設置して下さい。



- ⇒ バッテリーカバーをスライドさせて元に戻してください。

固定電話で利用する

Konftel 55Wと固定電話を接続することでOmniSound®HD品質の電話会議装置として使用できます。固定電話に元から搭載されているスピーカー機能とは異なり、高いサウンドレベル、全二重通信(双方向オーディオ)、効率的なエコーキャンセラー、ノイズキャンセリング機能を利用することができます。

- ① OmniSound®HDは音声帯域幅の全体(100-24000Hz)にわたって音声処理を行います。ただ、現在の電話通信技術では帯域幅を制限した音声情報を伝送するため、通話音声の音質はその分の影響があります。

Konftel 55Wを固定電話に接続するには、固定電話用アダプタ(アクセサリ)を電話機とハンドセットとの間に接続します。

このアダプタにより、通話音声をKonftel 55Wとハンドセットのどちらへ送るかボタンで切り替えることができます。

Konftel 55Wはすべてのデジタル電話(共同ネットワーク)に接続可能で、多くの場合、アナログ電話にも接続できます。

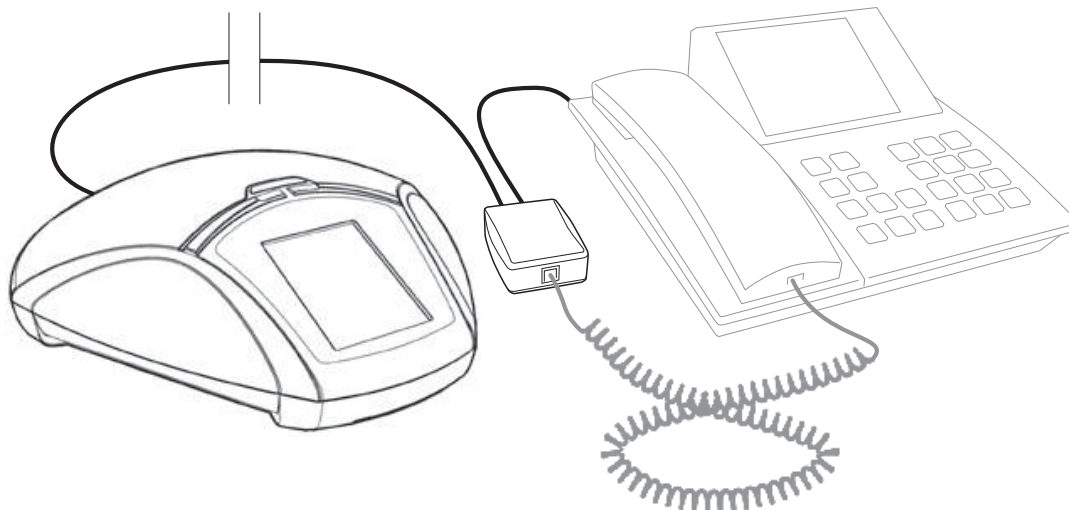
- ① 固定電話はヘッドセットジャックから接続することもできます。9ページの「携帯電話でKonftelを使用する」もご参照ください。

固定電話への接続

- ⇒ 電話のハンドセットケーブルを電話から外し、それを固定電話アダプタに接続してください。

- ⇒ 下の図のように固定電話アダプタを電話とKonftel 55Wに接続してください。

📞 ボタンがKonftel 55Wに表示されます。



- ⇒ 受信相手が適したサウンドレベルを受け取れるかを確かめるためのテストコールを行ってください。(32ページをご覧ください)。

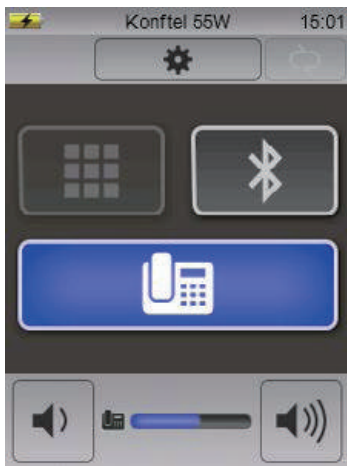
- ① 通話音声の音量レベルは電話機の機種によって異なります。したがって、すべての参加者に質のよいサウンドを確保するためにKonftel 55W側でマイクレベルの調節が必要です。この設定は本体に保存され、アダプタの接続の度に適用されます。

固定電話で利用する

発信する

通話中および発信中に、通話をKonftel 55Wに転送させることができます。

- ⇒ Konftel 55W上の  ボタンを押すと音声を電話からKonftel 55Wに移動させることができます。
 ボタンとLEDが点灯しています。



- ⇒ ハンドセットを取り、固定電話で番号をダイヤルしてください。

音量調節

音量は電話がアクティブ状態の時( が点灯した状態)、調節することができます。完全に音をミュートすることはできません。

転送と通話終了

- ⇒  ボタンを押すと音をKonftel 55Wと電話のハンドセットとの間で転送することができます。
- ⇒ ハンドセットを固定電話の元の位置に戻すと通話を終了することができます。
- ① Konftel 55W上の  ボタンは、後からKonftel 55Wを使用したい時、点灯したままになっています。

携帯電話でKonftelを利用する

Konftel 55Wと携帯電話を接続することでOmniSound®HD品質の電話会議装置として使用できます。高いサウンドレベル、全二重通信（双方向オーディオ）、効率的なエコーキャンセラー、ノイズキャンセリング機能を利用することができます。

- ① OmniSound®HDは音声帯域幅の全体（100-24000Hz）にわたって音声処理を行います。モバイル通信ネットワークは帯域幅を制限しており音は圧縮されています。これは音質に影響を与えます。アップデートされた3Gネットワークを使用すると、高音質で通話できる傾向があります。
- ① Konftel 55Wは、固定電話と携帯電話を同時に使うことはできません。携帯電話が接続されたとき、固定電話の接続は使用できなくなります。

ケーブルを使用した携帯電話への接続

各携帯に適したケーブル（別売品）を使用してKonftel 55Wと携帯電話を接続します。Konftel 55Wは携帯電話に接続されたヘッドセットと同じように機能します。

- ① 種類によっては、ヘッドセットジャックを通して固定電話を接続することもできます。機能は携帯電話接続と全く同じです。
- ⇒ 携帯電話ケーブルを使ってKonftel 55Wと携帯電話を接続してください。
📞 ボタンがKonftel 55Wに表示されます。接続するとボタンはすぐにアクティブ状態になります。
- ⇒ 受信相手が適したサウンドレベルを受け取るかを確かめるためのテストコールを行ってください。（32ページをご覧ください）。
- ① 通話音声の音量レベルは電話機の機種によって異なります。したがって、すべての参加者に質のよいサウンドを確保するためにKonftel 55W側でマイクレベルの調節が必要です。この設定は本体に保存され、モバイルケーブル接続の度に適用されます。

携帯電話の自動検出

Konftel 55Wは通常、ケーブルで携帯電話が接続された際に自動検出を行います。機種によってはコールが接続されるまで、もしくは使用されていない状態でスリープにするためKonftel 55W/ヘッドセットに接続されるまで、接続はアクティブ状態になりません。この場合、携帯電話から発信するかコールを受けるまで 📞 ボタンは表示されません。

常に 📞 を表示させて携帯電話を自動的に接続させたくない場合は、設定を変えて、携帯電話は接続されているか否かに関わらずボタンを常に表示させることができます。（31ページをご覧ください）

携帯電話で利用する

発信する

⇒ Konftel 55W上の  ボタンが青色に光っているか確認してください。光っていない場合はボタンを押してください。



⇒ 携帯電話で番号をダイヤルしてください。

① 携帯電話で通話中に通話音声をKonftel 55Wに移動させたい時はケーブルに接続してください。

音量調節

音量は電話がアクティブ状態の時( が光った状態)、調節することができます。完全に音をミュートすることはできません。

保留

⇒  を押すと通話を保留できます。(マイクとスピーカーは切れます)

通話を転送する

⇒ 携帯電話からケーブルを外すと、Konftel 55Wから出ている音声は携帯電話に移ります。

通話終了

⇒ 携帯電話で通話を終了してください。

① 後でまたKonftel 55Wを使用したい場合、55W上の  ボタンを点灯させたままにすることもできます。

PCで利用する

Konftel 55WとPCを接続することでOmniSound[®]HD品質の通信会議装置として使用できます。通常のPCのスピーカー、マイクと異なり、Konftel 55Wは全二重通信(双方向音声)、効率的なエコーキャンセラー、ノイズキャンセリング機能を提供します。PCはKonftel 55Wをエコーキャンセリングデバイスとして認識するので、通常、通信ソフトウェアは音声処理をKonftel 55Wに委ねます。これにより質の良い音が得られます。これはSkype[®]のように手動で調整することもできます。

- ① OmniSound[®]HDはオーディオのフル帯域幅(100-24000Hz)にわたって効果がありますが、ネットワーク機器や、他地点で会議参加者が使用している機器によっては、音質が制限される場合があります。

PCへの接続

- ⇒ 付属のUSBケーブルでPCをKonftel 55Wへ接続してください。
 ボタンがKonftel 55Wに表示されます。ボタンはすぐに接続状態になります。
- ① 通常、OSが自動でKonftel 55Wをスピーカー及びマイクとして選択します。Konftel 55Wが自動的にオーディオデバイスとしてPCで選択されない場合、PCの設定画面を開き、Konftel 55Wを選択してください。
- ① PC内蔵スピーカーを使用するソフトウェアプログラムを起動している場合は、スピーカーをKonftel 55Wに切り替えるためにプログラムを再起動する必要があります。

PCで利用する

PCのスピーカーとして使用する

USBケーブルを接続するとUSBがすぐに有効になります ( が光ります)



PCは通常、マイクをさせる他のプログラムが作動していない場合、Konftel 55Wのスピーカーのみ有効です。これはKonftel 55WがPCスピーカーとして作動しており、OmniSound®HDのオーディオプロセッシングが切れていることを意味しており、音は変わりません。

Konftelを会議ユニットとして利用する

通信ソフトウェア、また音声録音ソフトウェアがPCで作動している時、Konftel 55Wマイクもアクティブ状態になります。この時OmniSound®は全二重通信とエコーキャンセリング処理をします。同時にKonftel 55W上の青LEDも点灯します。

VoIP通信を行うには Skype®、Microsoft® Lync®、オンラインの会議サービスやその他VoIP (Voice over IP) ソフトウェアを使ってください。

音量調節

音量はPC上とKonftel 55W上で調節できます。

① Konftel 55W上の  ボタンを押すと音を素早く消すことができます。

Bluetoothで利用する

Bluetooth機能を持つ携帯電話とKonftel 55Wをワイヤレスで接続できます。Bluetoothは携帯電話の設定で起動してください。

また、Bluetooth機能があれば固定電話やPCとのワイヤレス接続も可能ですが、Konftel 55Wの画面からダイヤルする等の機能はサポートされていません。21ページの「ヘッドセットのついた電話との接続」も併せてご覧ください。

- ① OmniSound®HDは音声帯域の幅全体(100-24000Hz)にわたって音声処理を行いますが、ネットワーク通信及びBluetoothの技術では、帯域幅を制限し圧縮した音声情報が伝送されます。通話音声は、これによる音質への影響があります。
- ① Konftel 55WのBluetoothは無効にできます。画面に  ボタンが表示されていなければ設定を開き、Bluetoothを有効にしてください。

ペアリングと接続

Bluetooth通信する前に両方の機器をペアリングする必要があります。ペアリング操作はKonftel 55Wからでも携帯電話からでも可能です。

- ① 同時に2つのデバイスからペアリングをしようとすると、通信衝突の恐れがあります。片側のデバイスからサーチさせることを推奨します。

多数のBluetoothデバイスが近くにあることを想定し、ペアリングしたいデバイス名を確認しておいて下さい。

- ⇒ 携帯電話で、Bluetoothを有効にする
有効にすると、電話が他のBluetoothデバイスにも見えるようになり、電話を探し始めます。
- ⇒ Konftel 55W上の  ボタンを押すと組み合わせられたデバイスのダイアログボックスが開きます。
この動作でKonftel 55Wが他のBluetoothデバイスに見えるようになります。



BluetoothでKonftelを利用する

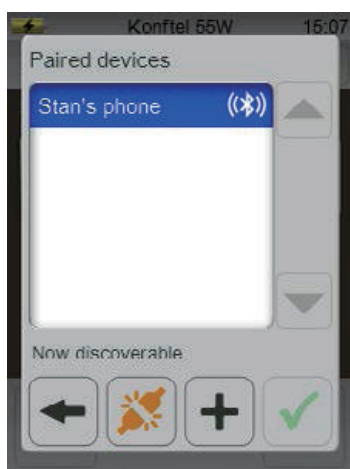
オプション1:携帯電話からのペアリングと接続

⇒ 携帯電話からサーチ操作を行ってください。

⇒ Konftel 55W(あなたのKonftel 55Wの名前)をデバイスの検索結果から選んでください。(デバイスのサーチには少々時間がかかります)。

ペアリングが終了すると、通常、2つのデバイスは自動で接続されます。機種によっては、電話側で接続を開始する必要があります。

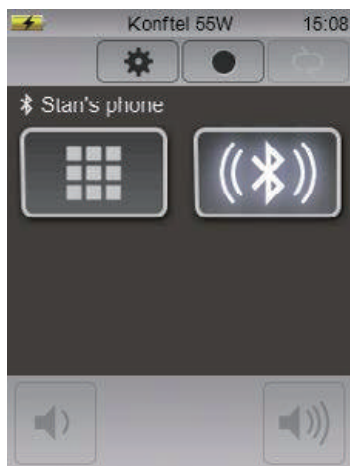
Konftel 55Wのペアリングされるデバイスのリストにあなたの携帯電話の名前が表示されるので、接続された《Ⓜ》に従ってください。



⇒ Konftel 55Wのペアリングされるデバイスのダイアログボックスにある「戻る」の矢印 ←を押してください。

Konftel 55Wはメイン画面に戻ります。《Ⓜ》が点灯し、左側には ■■■■が表示されます。それを使って番号をダイヤルできます。

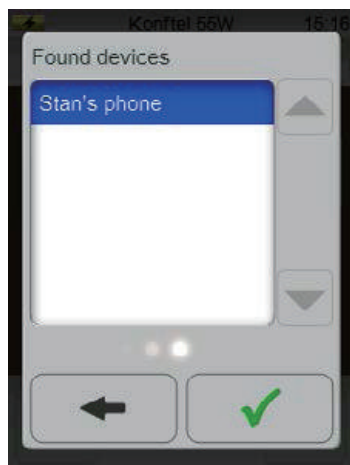
また、ディスプレイにあなたの接続された携帯電話の名前も表示されます。



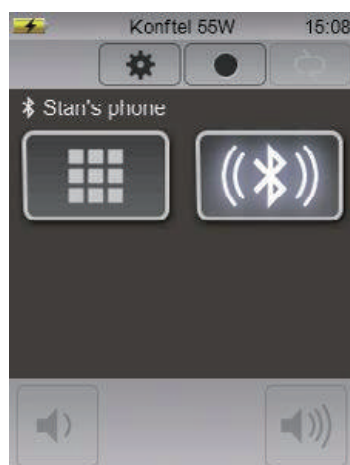
BluetoothでKonftelを利用する

オプション2:Konftel 55Wからのペアリングと接続

- ⇒ Konftel 55W上の **+** ボタンを押すと携帯電話の検索と追加が開始されます
- ⇒ 見つかったデバイスのリストの中からあなたの電話を選択し、**✓** を押してください。



- ① Konftel 55Wとペアリングしたい携帯電話を確認する必要があります。
- ① あなたの携帯電話がSecure Simple Pairing Protocolをサポートしていない場合、PINコード入力が必要です。
Konftel 55Wへの接続のコードは**0000**です。
デバイスはペアリングされ、自動的に接続されます。Konftel 55Wはメイン画面に戻ります。((ⓑ))は光り、左側に ■■が表示されます。
これを使って番号をダイヤルします。また画面には接続されたあなたの携帯電話の名前も表示されます。



BluetoothでKonftelを利用する

すでにペアリングされた電話の接続

ペアリングでは電話とKonftel 55Wとが互いに情報を保存します。接続が途切れても情報は保存されます。

接続が切断した場合考えられる可能性:

- 各デバイスが離れている(Bluetoothの範囲は訳10mです)
- 携帯電話、またKonftel 55WでBluetoothが切れている
- Konftel 55Wで接続を切った場合(✖)

互いの範囲内に携帯電話とKonftel 55Wがあれば次回以降、ペアリングを行う必要はありません。そのまま接続できます。

⇒ ✖ を押すとペアリングされたデバイスのリストが開きます。

① Konftel 55Wが他の電話と接続された時、ボタンは(✖)とともに表示されます。



⇒ リストからあなたの携帯電話を選択し、✓を押してください。

あなたの電話はKonftel 55Wに再び接続されます。

① Bluetooth は携帯電話で起動してください。携帯電話から接続することもできます。

① 携帯電話で通話中の場合、Konftel 55Wにそのコールを移動することができます。

① 発信、もしくは受信した時、携帯電話によっては自動的にペアリングされたハンズフリーのデバイス(Konftel 55W)に接続しようとします。

BluetoothでKonftelを利用する

発信する

オプション1:

⇒ ご携帯電話で番号をダイヤルしてください。

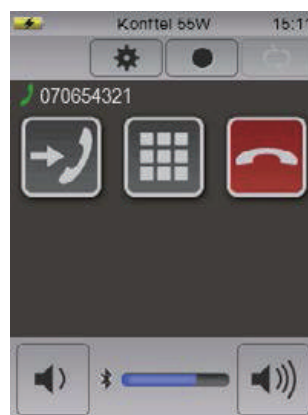
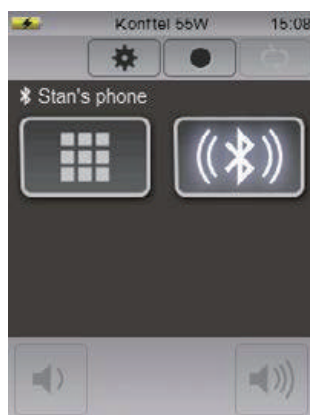
Konftel 55W上のLEDが光り、音はKonftelから聞こえます。

携帯電話によっては、音を携帯電話から出すかヘッドセット(Konftel 55W)から出すかを選べます。

オプション2:

⇒ Konftel 55Wで  を押して番号をダイヤルしてください。

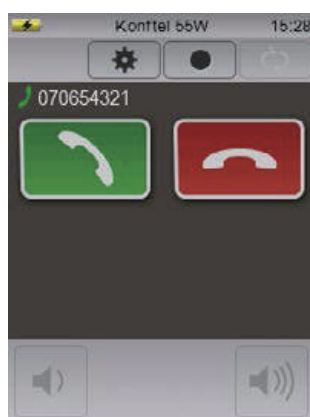
携帯電話が番号を鳴らします。Konftel 55WのLEDは光り、音はKonftelから聞こえます。



受信する

⇒ Konftel 55Wで受信します。

Konftel 55W上のLEDが光り、音はKonftelから聞こえます。



携帯電話で受けると、通話音声は携帯電話から出力されます。Konftel 55Wは通話をKonftelへ転送させる()マークを表示します。

BluetoothでKonftelを利用する

携帯電話とKonftel 55W間の通話の転送

携帯電話はKonftel 55Wへ接続され、通話中のままの状態になります。

- ⇒ Konftel 55Wの  マークを押してください。
Konftel 55WのLEDは消え、音は携帯電話へ転送されます。
 ボタンは( )ボタンに変わります。



- ⇒ ( )ボタンを押すと、音はKonftel 55Wへ戻ります。
- ① もし携帯電話での通話を続けKonftel 55Wとの接続を終了したい場合、 ボタンを押して転送し、() ボタンと  ボタンを押して最後に  ボタンを押してください。
携帯電話への接続は切れ、Konftel 55Wは別の電話に接続されます。

通話中の携帯電話への接続と転送

携帯電話がペアリングされているがKonftel 55Wへ接続されていない場合、携帯電話が通話中となっています。

- ⇒  ボタンを押すと、ペアリングされたデバイスのリストが開かれます。
- ⇒ リストからあなたの携帯電話を選らんで  を押してください。
Konftel 55W上のLEDは光り、音はKonftelから聞こえます。

通話の間にキーボードを使用する

会議サービスへ接続する時など通話中にダイヤル入力しなければならない場合には、携帯電話およびKonftel 55Wで通話中のキーボードの使用が可能です。

- ⇒  マークを押してください。
- ⇒ 数字を押して  ボタンでメイン画面に戻ってください。

BluetoothでKonftelを利用する

音量調節

通話中でも音量調節可能です。コールのサウンドレベルはそれ以前のコールと同じです。

Konftel 55Wと携帯電話で音量レベル調節可能です。電話通信の前後で実行されている時は、音量調節を使って音を消すことはできません。

通話終了

⇒  マークを押すとコール(携帯からのコール)を終えることができます。

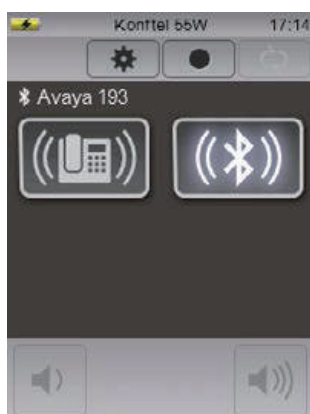
BluetoothでKonftelを利用する

ヘッドセットプロファイル付の電話への接続

Bluetoothで接続可能な固定電話はヘッドセットプロファイルのサポートに制限があります。たとえば、そのような固定電話ではKonftel 55Wで番号をダイヤル不可能ということになります。。

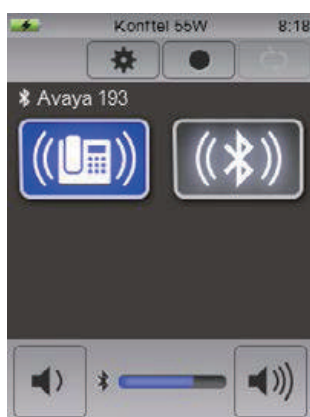
Konftel 55WはどのBluetoothプロファイルが電話にサポートされているかを検出し、それに応じてインターフェイスの設定をします。

ヘッドセットプロファイルを備えてBluetoothで電話が接続されている場合、のボタンが表示されます。



発信する

- ⇒ 電話のヘッドセットボタンもしくはKonftel 55Wの  ボタンを押すと、音声をKonftelに転送できます。Konftel 55WのLEDと  ボタンが点灯し接続音が鳴ります。



- ⇒ 電話で番号をダイヤルしてください。

BluetoothでKonftelを利用する

通話終了

⇒ 電話のヘッドセットボタン、もしくはKonftel 55Wの《》ボタンを押すと終了できます。

電話とKonftel 55Wの切り替え

⇒ ハンドセットを上げてください

⇒ 電話のヘッドセットボタン、もしくはKonftel 55Wの《》ボタンを押すと、音をKonftelに切り替えられます。

受信する

接続されている電話によって2つの方法があります。

オプション1:

Konftel 55Wが鳴りLEDが光ります。

⇒ Konftel 55WのLEDと《》ボタンが光りKonftelから音が聞こえます。

① 固定電話の受話器からは通話に応じて音声聞こえます。

オプション2:

Konftel 55Wが鳴りLEDと《》ボタンが光ります。

⇒ Konftel 55Wの《》ボタン、もしくは電話のヘッドセットボタンを押してください。
《》ボタンは点灯したままで通話が接続されます。

① 固定電話の受話器からは通話に応じて音声聞こえます。

複数の接続を並列使用する

固定電話の接続、携帯電話のケーブル接続、および携帯電話のBluetooth接続に関して、ひとつのKonftel 55Wに複数の接続を同時に使用することができます。それらの接続は、それぞれ本体画面にボタンとして表示され、どの接続でも発信でき、またどの端末にかかる着信も受けることが可能です。

接続間の切り替え

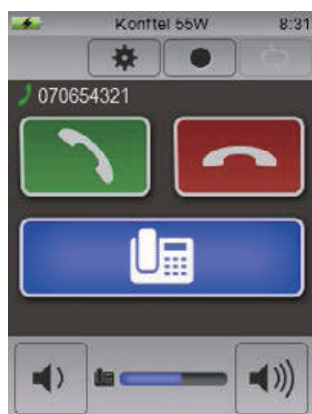
各接続に対応したボタンを押して、希望の接続を起動させてください。以前実行した接続は、点滅状態で画面表示されます。

Bluetoothとケーブル接続電話

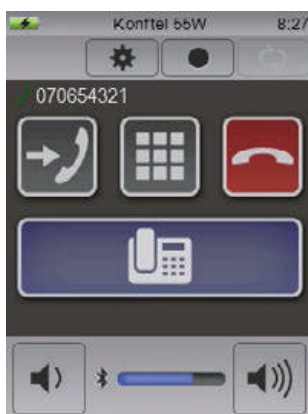
例) 固定電話で通話してKonftel 55Wを使っている時

Bluetooth接続携帯電話が鳴り始めます。呼び出し音はKonftel 55Wから聞こえます。LEDは青く光り、マークとマークが表示されます。

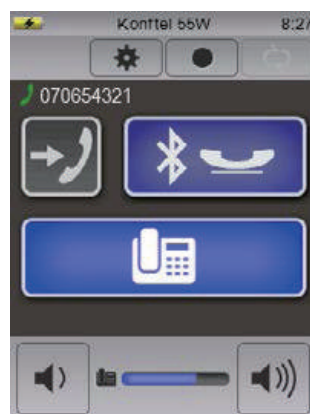
- ⇒ マークを押すと着信にこたえることができます。
今ある通話は保留され、ボタンが光ります。



Bluetooth接続電話を受信



Bluetooth接続電話がアクティブ状態に。それまでの通話は保留。
ボタンが点灯する。



通話がアクティブになり、Bluetooth接続電話が保留になった状態。
 ボタンが点灯する。

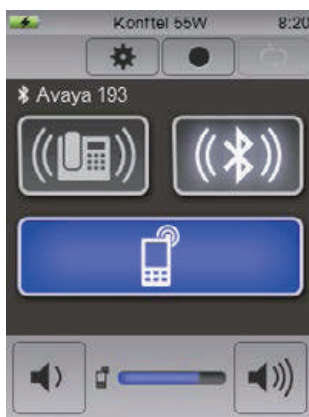
- ⇒ 点滅している マークを押すと最初のコールに戻ります。
2つ目の通話は保留され、マークは マークの点滅に変わります。

複数の接続を並列使用する

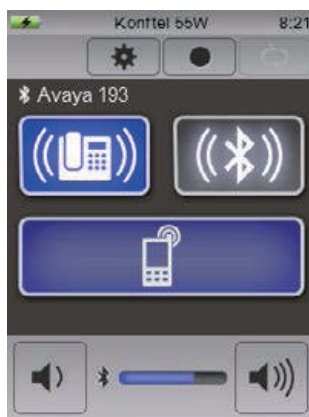
Headset Profile(HSP) に対応したBluetooth端末

Headset Profile(HSP)に対応したBluetooth端末と、モバイルケーブル接続の携帯端末を同時に接続して使用することが可能です。

たとえば、モバイルケーブル接続の携帯電話で通話中、Bluetooth端末へかかってきた着信を受ける場合、着信前の(携帯電話の)の通話は下図のように保留されます。📞マークまたは((📞))マークを押すことで、ケーブル接続端末の通話とBluetooth接続端末の通話を切り替えることができます。

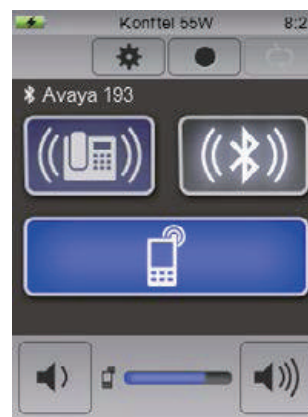


携帯電話の通話中にBluetooth電話を受信した状態。



Bluetooth接続電話がアクティブ状態になり、携帯電話が保留の状態。

📞 ボタンが点灯。



携帯電話がアクティブで、Bluetooth接続電話が保留の状態。

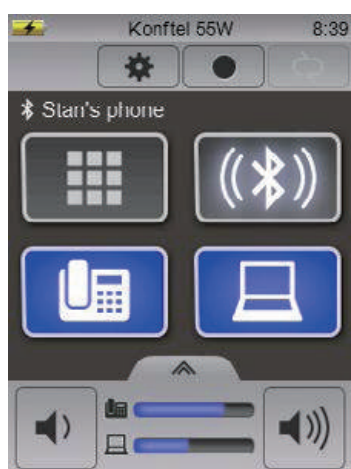
((📶)) ボタンが点灯。

ブリッジ接続

PCと電話の音声を有効にすることで、PCと電話のブリッジ接続が可能です。どちらの音声にも、OmniSound®HDの音声処理(全二重通信、エコーキャンセラー、ノイズキャンセラー)を行います。

⇒  マークを押して(接続されている電話による)  マーク もしくは  マークを押してください。もしくはBluetooth端末で発信してください。

どちらのボタンも点灯し、PCと電話の音声はKonftel 55Wから出力されます。音量操作部にはインジケーターが2つ表示されます。



音量調節

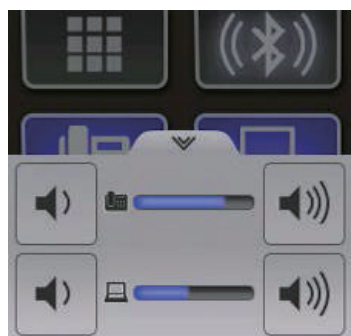
全体のレベル操作は、通常通り左右の音量ボタンを押して調節します。

PCと電話端末の音量を個別に調節する

PCと電話端末の音量が異なる場合、どちらの音声も明瞭に聞こえるよう、音量を個別に調節します。

⇒ 音量調節部の上部にあるボタンを押してください。

音量調節部が、2音量を個別調整する表示に変わります。



ブリッジ接続

- ⇒ 2つの音量を個別に調節します。
- ⇒ 音量調節部の上部ボタンをもう一度押すと全体の音量調節に戻ります。
- ① Konftel 55Wiは、PC及び通信端末との接続が切断した際に設定音量を保存します。接続がもう一度アクティブになったときは、直前に設定していた音量で動作します。

ヘッドセットを利用する

Konftel 55Wはヘッドセットポートを備えています(3.5mmプラグ)。

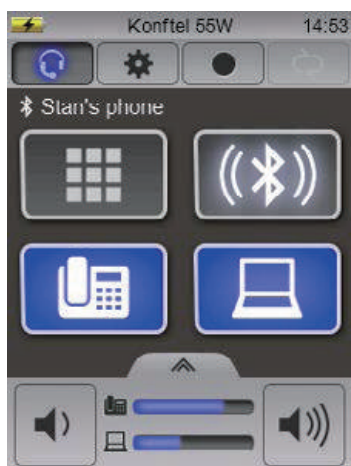
- ① ヘッドセットがKonftel 55Wで使えない場合は、33ページの設定の見出し「ヘッドセット」の項目をご覧ください。
- ① またヘッドセットサウンドレベルのサウンドレベルを調整できる設定もあります。この設定でスピーカーからの音のように力強く感じることができます。



警告

大音量でヘッドフォン、イヤフォンを使用すると聴力にダメージを与えます

- ⇒ ヘッドセットをKonftel 55Wに接続してください。
 - 🔄 マークがKonftel 55Wに表示されます。音声は接続されたヘッドセットへ転送されます。
- ⇒ 🔄 マークを押すとヘッドセットへ音を送るかKonftel 55Wへ音を送るか切り替えることができます。



Bluetoothヘッドセット

ワイヤレスでヘッドセットをBluetoothに接続できます。13ページのペアリングについてもご覧ください。ヘッドセットが接続される時、写真上の  マークは  マークに変わります。

- ⇒ 🔄 マークを押すとヘッドセットへ音を送るかKonftel 55Wへ音を送るか切り替えることができます。
- ① Bluetoothヘッドセットは他のBluetoothデバイスとは一緒に使うことはできません。

録音機能

Konftel 55W は会議の録音や記録作成にも使用可能です。録音はメモリーカードで保存できます。フォルダは録音の日付とともに自動的にカードに作られます。これらは録音を開始すると時間とともにWAVフォーマットに保存されます。

Konftel 55WはSDとSDHCカードをサポートしています。録音可能な時間は、メモリーカード1GBあたり35時間です。

録音

- ① 電話会議の録音は、会議参加者の同意を得た上で実行してください。参加者は通話が録音されているということを知らせるシグナルを一定の間隔で聞くことができます。

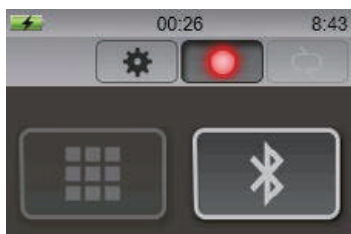
- ⇒ Konftel 55WにSDメモリーカードを入れてください。

☰ メニューボタンの右側は録音ボタン(●)です。



- ⇒ 録音ボタンを押すと録音が始まります。

録音ボタン(●)は赤く点灯し、録音時間が表示されます。



- ⇒ 録音ボタン(●)をもう一度押すと録音停止します。

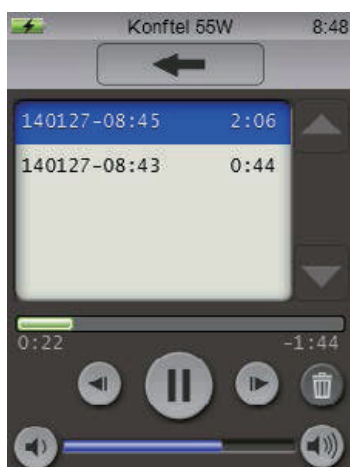
録音内容はSDカードに保存されます。

録音内容を聞く

再生や編集のために、録音内容をカードからPCへ移動させることができます。また、Konftel 55Wでも再生可能です。

⇒  MENUボタンを押して  ボタンを選択してください。
SDカードに保存された録音データのリストが表示されます。

⇒ 聞きたい録音データを押してください。



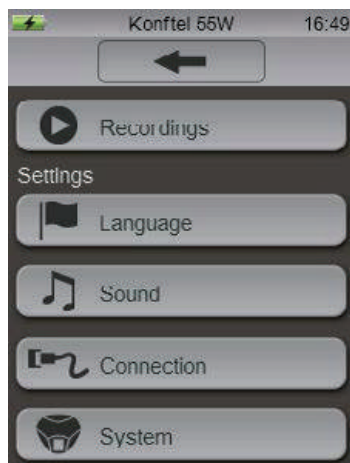
 ボタンで再生を止めることができます。また早送り(), 早戻し()ボタンで10秒ごとに早送り、早戻しができます。
ボタンの上のタイムラインで聞きたい部分を指定して再生することもできます。

 と  ボタンを使って音量を調節してください。

 ボタンで選択中のデータを消すことができます。

設定

- ⇒ ≡ MENUボタンを押してください
メニューが開きます。



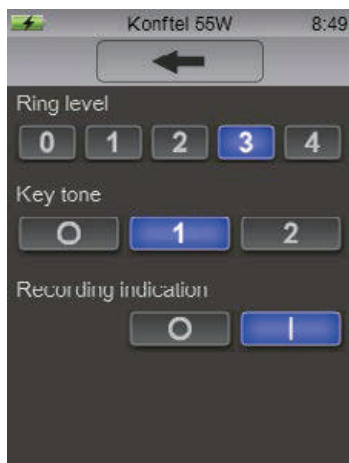
言語の変更

- ⇒ メニュー内の 旗 ボタンを押してください。
- ⇒ リストから言語を選び ← ボタンを押してください。



効果音を調節する

- ⇒ メニューの  サウンドボタンを押してください。
- ⇒ ボタンを押して設定を変え、最後に  ボタンで終了してください。



呼び出し音レベル

この設定はBluetoothを通した着信にのみ適用されます。

キートーン

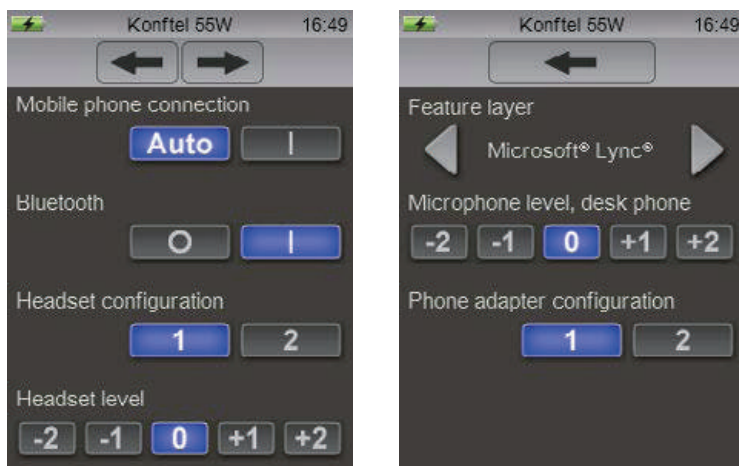
オフ、静か、少し大きめのクリック音を選択できます。

録音通知

呼び出している時、通話が録音されていることを知らせる機能です。等間隔で信号が聞こえます。この設定は切ることもできます。

接続設定の変更

- ⇒ メニューの  接続マークを押してください。
- ⇒ ボタンを押して設定し、 ボタンで終了してください。



携帯電話接続

Konftel 55W は通常携帯電話がケーブルで接続されたとき検出します。携帯電話によっては通話が確立するまで接続がアクティブ状態にならないものもあります。常にKonftel 55Wにサウンドアクティブボタンを表示したい場合は、Autoの代わりに | を選択してください。

Bluetooth

Konftel 55Wをどの電話にもワイヤレス接続できるようにしたくない場合は、Bluetoothを切ることもできます。すべてのペアリングされた電話は保存され、次回以降Bluetoothを起動させると自動で表示されます。バッテリー駆動の場合、Bluetoothを切るとKonftel 55Wの充電残量を節約します。

固定電話アダプタの設定

① この設定は電話アダプタが接続されている場合のみ利用できます。

ハンドセットコネクタのピン配置は電話メーカーによって異なります。アダプタがあなたの電話とどうも機能しない場合、1から2までこの設定を動かすことでピンの構成を変える必要があります。

- ⇒  ボタンをアクティブ状態にし、接続された電話のハンドセットをあげると、電話アダプタが機能しているか確認できます。Konftel 55Wの接続トーンを確認してください。

固定電話アダプタマイクレベル

① この設定は電話アダプタが接続されている場合のみ利用できます。

通話により伝送される音声の信号レベルは通信端末の機種によって異なるため、その端末ごとにマイクレベルを調整する必要があります。

そうすることでKonftel 55Wは最適なパフォーマンスを実現し、他の参加者もクオリティの高い音を楽しむことができます。

設定はKonftel 55Wに保存され、電話がアダプタで接続されると使用できます。

⇒  マークをアクティブ状態にし、テストコールを行ってください。

⇒ メニューの  接続設定を開き、適したレベルになるまで通話中の音の調節を行ってください。

① 電話端末へ直接話すときは、音は標準レベルにしてください。

聞き取りづらい地点がある場合、0から+1、もしくは+2の間で調整してください。

音が歪んでいる地点がある場合、0から-1、もしくは-2の間で調整してください。

携帯電話マイクレベル

① この設定は携帯電話がケーブルで接続されている場合のみ利用できます。

通話により伝送される音声の信号レベルは通信端末の機種によって異なるため、その端末ごとにマイクレベルを調整する必要があります。そうすることでKonftel 55Wは最適なパフォーマンスを実現し、他の参加者もクオリティの高い音を楽しむことができます。

設定はKonftel 55Wに保存され、次回以降携帯電話が接続されると使用できます。適正なレベルは製品によって異なるため、新規の携帯端末を接続する度に調節する必要があります。

① ほとんどの携帯電話は基本設定0で問題ありませんが、このセッティングをすることで微調整が可能です。

⇒  マークを有効にし、Konftel 55Wに接続した携帯電話でテストコール行ってください。

⇒ メニューの  接続設定を開き、適したレベルを探し通話中の音を調節してください。

① 電話端末へ直接話すときは、音は標準レベルにしてください。

聞き取りづらい地点がある場合、0から+1、もしくは+2の間で調整してください。

音が歪んでいる地点がある場合、0から-1、もしくは-2の間で調整してください。

ヘッドセット

この設定で、ヘッドセットの機種に応じてヘッドセットポートを変更できます。

3.5mmプラグのヘッドセットの多くは3極(モノ)または4極(ステレオ)のもので、マイク端子がスリーブ側に付いています。ヘッドセットが機能しない場合、互換が取れていない可能性があります。

ヘッドセットレベル

感度(オーディオボリューム)はヘッドセット間で変わります。そのため、スピーカで聞くのと同じくらいの音量まで調整することが可能になっています。



警告

大音量でのヘッドフォン/イヤフォンの使用は聴力にダメージを与えます
また高感度のヘッドセットの場合も大音量は聴力に影響します

- ① 安全のため、この設定はヘッドセットを外すとリセットされるようになっています。次に接続されるヘッドセットがより感度の高いものである場合に備えています。

フィーチャーレイヤー

UCソリューションのフィーチャーレイヤーを設定できます。初期設定はMicrosoft® Lync® となっています。設定時にはKonftel55WがPCで使用されているLync® クライアントを検出した場合、Lync® のフィーチャーレイヤーがKonftel 55W上に表示されます。

システム設定を変える

⇒ メニューの  システムボタンを押してください

⇒ ボタンを押して設定し、  ボタンで終了してください。



以下の設定変更が可能です：

- Konftel 55Wの名前を変える(この名前はBluetoothとのペアリングの際に表示されます)
- 録音の日付、時刻設定
- ソフトウェアのバージョンチェック
- ソフトウェアアップグレード
- Konftel 55Wの設定をデフォルトに戻し、保存した設定をすべて削除する

ソフトウェアのアップグレード

Konftel 55Wが最新のソフトウェアで動作するよう、内部ソフトウェアをアップグレードすることが可能です。アップグレードはUSB経由で、もしくはSDカード経由でも可能です。

- ① 表示言語の設定にかかわらず、アップグレードモードの表示言語は英語です。“Konftel Upgrade Utility” (ソフトウェア) による操作も同様です。

PCからのアップグレード

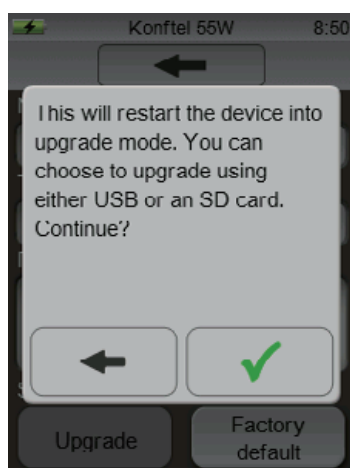
Microsoft® Windows® のPCが必要です。

Konftel Upgrade Utilityのインストール

- ⇒ www.konftel.com/upgradesでKonftel 55Wを選択してください。
- ⇒ Konftel Upgrade Utilityをダウンロードしてください。
- ⇒ PCにソフトウェアをインストールしてください。インストールプログラムのガイドにしたがってください。

アップグレードソフトウェア

- ⇒ Konftel 55WをUSBケーブルを使ってPCに接続してください。
- ⇒ ☰ メニューボタンを押して 📱 システムを選択してください。
- ⇒ アップグレードモードで、アップグレードボタンを押してチェックボタンで確定すると再起動します。



Konftel 55Wはアップグレードモードで再起動します。

- ⇒ Konftel 55Wが再起動している時、🔌 USB使用を押してください。
- ⇒ Konftel Upgrade UtilityをPCで始めてください。ソフトウェアガイドに従ってください。

ソフトウェアのアップグレード

- ① Konftel Upgrade Utility を使って、Konftelのウェブサイトから自動で最新版をダウンロード、インストールさせることを推奨します。
先にPCにダウンロードしたファームウェアをインストールすることも可能です。

SDカードでのアップグレード

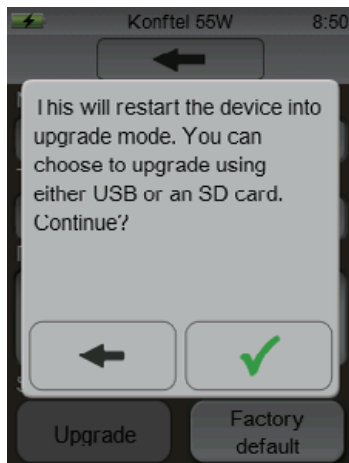
この方法にはSDカードリーダー付のPCが必要です。

アップグレードファイルのダウンロード

- ⇒ www.konftel.com/upgradesでKonftel 55Wを選択してください。
- ⇒ Konftel 55/55W用の最新版のソフトウェアをダウンロードしてください。
- ⇒ ファイル(拡張子.kt)をSDカードにコピーしてください。

ソフトウェアのアップグレード

- ⇒ ソフトウェアファイルの入ったSDカードをKonftel 55Wに入れてください。
- ⇒ メニューボタンを押して、 システムを選択してください。
- ⇒ アップグレードボタンを押して、 ボタンで確定するとアップグレードモードで再起動します。



Konftel 55Wはアップグレードモードで再起動します。

- ⇒ Konftel 55Wが再起動している時、SDカード使用ボタン  を押してください。
- ⇒ Konftel 55Wに表示されたガイドに従ってください。

技術仕様

サイズ	幅222mm×奥行206mm×高さ68mm
重さ	640g
色	リコリッシュブラック、シルバー
ディスプレイ	カラーLCD、240×320ピクセル
ボタン	タッチスクリーン、オン／オフ、マイクスイッチオフ
メモリ	SDメモリーカード
アップグレード	Konftel upgrade utility (Microsoft® Windows® 用) は USB 接続で Konftel 55W ソフトウェアをアップグレードします。SD カードからもアップグレード可能です。

電源

ACアダプタ	Phihong PSC12R, 100-240 V AC/12 V DC
バッテリー(オプション)	3.7V 2260mAh Li イオンポリマー Konftel 55WのバッテリーはACアダプタ、またはUSBケーブルで充電できます。

接続

USB	USB2.0 Mini Bタイプ(PC接続)
携帯電話	モジュラー6P6C DEC。ヘッドセットジャック接続(オプションのケーブルが必要です)。
固定電話	モジュラー8P8C。IP、TDM固定電話接続(オプションのKonftel電話アダプタ利用)。 機種によっては専用ケーブルで直接接続する必要があります。
ヘッドセット	3.5mmフォンプラグ(TRS/TRRS)
Bluetooth	Bluetooth2.1+EDR 携帯電話や“Bluetooth Handsfree profile” “Bluetooth headset profile” 対応の機器、オーディオゲートウェイとして機能する機器等へ接続可能。
拡張マイク	2モジュラー4P4C

サウンド

音声処理技術	OmniSound®HD
マイク	Omnidirectional
集音範囲	30m²まで
周波数	100-24000Hz
ボリューム	90dB SPL 0.5m

環 境

温度	:	5-40℃
湿度	:	20-80%(結露のない)
推奨	:	残響時間 0.5S Rt 60、バックグラウンドノイズ <45 dBA

Konftelはオーディオ会議システムの業界をけん引する会社で、急速に成長しているブランドです。1988年以降、距離にかかわらず人々が会議を行う手助けすることが私たちの使命でした。

自らの成功から、私たちは電話会議が時間とお金の節約になり、同時によりよい環境を作るすばらしいものであるということを知っています。

音質の高さは効果的な会議に不可欠です。これが特許取得の音声技術OmniSound®がすべてのKonftel会議電話に組み込まれている理由です。製品はKonftelブランドのもと世界中で販売されています。Konftelはスウェーデンに本社拠点を置いています。詳細はwww.konftel.comよりご覧ください。



エッジテックジャパン株式会社

Mail : info@edgetechjapan.com

本社 〒107-0062 東京都港区南青山 3-3-15 TEL: 03-5413-4669 FAX: 03-5413-4618

ホームページアドレス <https://edgetechjapan.com> 2014年7月